

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	54	学校名	仙台市立燕沢小学校	校長名	佐々木 祐二
------	----	-----	-----------	-----	--------

1 取組のタイトル、テーマ 「つば小エコ活動」



2 取組の紹介

(1) 日常的な取組み

各教室にあるごみ箱は、段ボールをリサイクルして作られています。「紙」「ストロー」「よごれたビニール」などは「燃えるごみ」,「ストローの袋」「汚れていないビニール袋」などは「プラごみ」のように、分別の仕方を分かりやすく表示し、色分けし視覚的に分かるように設置することで、進んでごみを分別できるようにしています。学校全体のごみが集まる集積所にも、自分たちで考えて捨てられるように、分かりやすく表示をしています。また、職員室でも同じ様に掲示をして、教員も率先して分別するよう取り組んでいます。



(2) 委員会での取組み

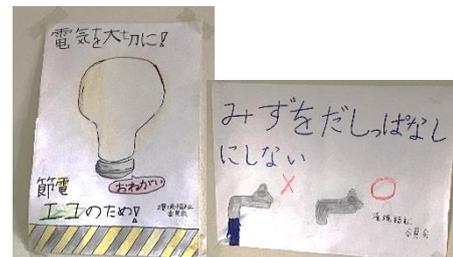
環境・福祉委員会が中心となり、以下のような取組を行いました。

① 節水・節電の呼び掛け

教室を空ける際に電気を消すこと、手洗い場やトイレでは水を大切に使うことを呼び掛けています。みんなに気付いてもらえるよう、貼る場所や見やすさも考えて作成しました。

② プランターへの植栽

見る人の気持ちが明るくなるよう、自分たちで植える植物を選んで植え、水やりや草取りなどに取り組みました。欠かさずに水やりをしており、子供たちが植物を大切にしている気持ちが表れていました。



(3) PTA除草作業

8月にPTAで校庭の除草活動を行いました。児童・家庭・先生が一緒になって校庭の草むしりを行いました。一人一人の力で心地よく過ごせる学校を作ろうと協力しています。

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

日頃からごみの分別を行うことで、「これはどっちのごみだろう。」,「小さく畳んで捨てるのごみが減るね。」と自分から考える姿が見られました。また、落としたごみは片付けるなど、みんなのごみ集積所をきれいに使う児童が増えています。

また、環境・福祉委員会では、「どうして花を植えるとよいのか」まで考え、奉仕作業の意義を考えた上で活動することで、「全校のためにまず自分たちが」という意識が高まりました。